

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	6115 西洋美術史2			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜3限				
教室	H302教室				
代表教員	君島 彩子				
担当教員	君島 彩子				
テーマと到達目標	本講義では、先史時代から19世紀末までの西洋美術を、社会情勢や思想の変化と関連づけて通史的に概観する。到達目標は、①主要な美術様式の視覚的特徴を判別できるようになること、②各時代の様式が成立した歴史的・文化的背景を構造的に理解すること、③美術を歴史を映す表現として捉え、その意義を自らの言葉で説明できる鑑賞力と思考力を養うことである。				
概要	本講義では、西洋美術を社会や思想の変化と関連づけて通史的に概観する。前半は「神と祈り」を軸に、先史時代から中世にかけて宗教と結びついた象徴的造形を考察する。中盤ではルネサンスからバロックに至る人間観の転換と表現技法の革新を扱い、後半では18～19世紀の宮廷文化や市民社会を背景に、近代絵画への移行と価値観の変容を検討する。絵画を中心に建築・彫刻も交え、図版を用いて解説する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	美術の起源と古代オリエント				対面授業
第2回	ギリシャ美術				対面授業
第3回	ローマ美術				対面授業
第4回	初期キリスト教とビザンティン美術				対面授業
第5回	ロマネスク美術				対面授業
第6回	ゴシック美術				対面授業
第7回	初期ルネサンス				対面授業
第8回	盛期ルネサンス				対面授業
第9回	北方ルネサンス				対面授業
第10回	マニエリスムとバロックの幕開け				対面授業
第11回	黄金時代のバロック美術				対面授業
第12回	古典主義の継承と異才の出現				対面授業
第13回	ロココ様式と新古典主義				対面授業
第14回	ロマン主義から印象派の誕生				対面授業
第15回	近代美術の入口				対面授業
成績評価の基準	授業中におこなうテスト及び提出課題、授業態度から総合的に評価。				
履修にあたっての留意事項	国立西洋美術館の常設展を各自で見学してください (詳しくは授業中に説明) 本授業では多くのスライドを使用します。講義中は画面の図解やイメージを確認しながら、「話を聞くこと」に集中してください。スライド内の文字情報は授業後に共有します。授業中にすべてを書き写そうとせず、復習の際に改めて内容を確認することを推奨します。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

## ◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	授業中に適宜指示または配布。		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	『カラー版 西洋美術史』高階秀爾監修 美術出版社	参考文献(ISBN)	4568400643

## ◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください <a href="https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html">https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</a> 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--